

タウンミーティング（楠河地区） 開催報告

- 日 時 令和元年8月27日（火） 午後7時30分から
- 場 所 楠河公民館 2階大会議室
- 参加者 楠河地区連合自治会長、河原津・成福寺自治会長、楠河小学校 PTA 会長、JA 楠河支所女性部長、河原津漁協婦人部長、楠河婦人会長、民生児童委員協議会長、楠河地区体育協副会長、交通安全協会支部長、青少年健全育成協議会長、楠河公民館顧問
市長、経営戦略部長、危機管理監、東予総合支所長、危機管理課長、地域防災アドバイザー、建築審査課長、シティプロモーション推進課長、広聴係長、東予総合支所総務課長、総務調整係
- 傍聴者 10人
- 次第
 - 1 開会
 - 2 挨拶（楠河地区連合自治会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 市の主要事業について
 - (1) 主要事業の説明（市長）
 - 5 参加者自己紹介
 - 6 地域課題①「地域防災対策」について《市提案》
 - (1) 課題等の経緯等内容説明（地域防災アドバイザー）
 - (2) 意見交換
 - 7 地域課題②「各団体の今後の在り方」について《地域提案》
 - (1) 地域からの提案説明
 - (2) 意見交換
 - 8 その他
 - 9 まとめ・閉会
 - (1) まとめ（市長）
 - (2) 挨拶（楠河地区連合自治会長）

○会議録

1 挨拶

【連合自治会長】

皆様こんばんは。このタウンミーティングは、西条市連合自治会と市が主催となり、地域が主導して開催している。本日は、市の現状や今後の市政方針について説明をいただき、地域課題のテーマについて行政と地域の皆様で話し合いをしていく。地域の声を活かした地域づくりを目指すことを目標にしている。

ただ今回挙げられているテーマは、すぐに解決できるものではない。今回話し合ったことを一つの叩き台、出発点として掴んでいただけたらと思う。限られた時間であるが、有意義な内容となるよう、よろしく願います。

【市長】

皆様こんばんは。本日は何かとご多忙でお疲れのなか、お集まりいただき誠に感謝申し上げます。

タウンミーティングは、前市長も取り組まれてきた部分だが、私も手探りでどのような形がベストなのか考えながら、今年度、全28地区に入らせていただいている。

皆様のご要望を予算に反映すべきものはしていきたい。そして地域が抱えている課題が複雑多様化している中、話し合いをしながら地域課題の解決策を見出していくかという事でこのような時間を取らせていただいた。

限られた時間であるので、答えが見つかるまでには至らないかもしれない。しかし、この会で終わりではなく、これをきっかけにスタートさせるという気持ちでいる。

地域課題については、西条市報の中で大町地区と橘地区の事例を紹介しているので、地域をどうしていくかのヒントにしていただきたい。行政も一緒に活動していく思いでいる。

2 市の主要事業について

(1) 主要事業の説明

【市長】(参照別紙資料 (1))

3 地域課題①「地域防災対策」について

(1) 課題等の経緯等内容説明

【地域防災アドバイザー】(参照別紙資料 (2))

(2) 意見交換

【参加者】

避難経路等について、空き家がもの凄く増えている。特にこの地域は道路が狭いため、救急や消防車が通りにくいというのに、空き家が倒壊する危険性も高い。避難経路的なものはあるが、今後どういう形でこの要素を取り込んでいくと考えているか。

楠河地区には防災士はたくさんいるが、皆さん関心が薄く、芸予地震以降、災害が自分事ではなく身近に考えていないようなところがある。どういった形で住民の気持ちを盛り上げていくか疑問に思うところもある。

空き家対策としてデータベース的にどう管理されているのか、その上で避難経路をどのような形で進めていくのか聞きたい。

【地域防災アドバイザー】

空き家対策については資料等にもあるが、避難経路をどうするかについては、実際にそこに住んでいる皆様と一緒に街歩きをしたい。なので、そういう企画をやろうという意見を盛り上げていただき、問い合わせただければ、地図等をお持ちして、皆で一緒に歩いて、「これはこうだね。」と話をしながら実際の避難経路を決めていきたいので、また呼んでいただければと思う。

【市長】

空き家バンク制度がある。まだ使えるような状況の空き家があれば、そのまま宅建不動産屋に持っていくのではなく、西条市を中継していただく。そうすることにより安心してやり取りしていただけたらと思う。

東京から移住する人は、古民家が良く、農業をしながら住みたいと言われる。

登録の数は丹原が非常に多い。状態が良い空き家であればよいが、今にも崩れそうなどという老朽空き家も多くある。

【建築審査課】(参照別紙資料 (3) (4) (5))

老朽空き家について、平成 28 年度からの 3 か年で 38 戸の除却を行っている。事業実施については、補助対象となる空き家、補助対象者、補助対象経費、補助金の上限額 80 万円に基づき行っているところである。

今年度についても 12 戸の申し込みがあり、現在、調査を行っている。そして、基準を満たしたものについて補助金を出している。今年度は申し込み期限は過ぎているが、辞退者が出る可能性もあるので、建築審査課に来ていただければ、申請書類をお渡しする。

【参加者】

困るのは、持ち主が遠くにいて今にも崩れそうな空き家をどうするか。更地にすれば税金が 7 倍に上がるのに誰がするのか。ということずっと置いている。そういったことでいつ壊れるかわからない空き家が多くある。

庄内小学校前の空き家も持ち主が東京におり、30 年そのままだったが、ようやく 3 年前に直った。

行政が強制執行できるような条例をつくっている自治体もあるが、どのように考えているのか。河原津も避難口が一輪車しか通れない通路がたくさんあるが、どのような方向性を持っているか。

【参加者】

空き家をどういう形で今後管理するのか。危険度が非常に高い所はなんらかの形で警告するのか。

法的にできるかわからないが、使わない土地は市の財産とするか、民間に移譲して活用してもらおう。申請したところだけ補助金を出すだけでなく、デスクワークだけでなく出て行って情報を

掴むのが一番ではないか。そういう形にしないと、空き家はたくさんあるので、補助金だけでなく、できることはないのか。

【建築審査課】

市全域で実態調査は行っている。個人財産なので市で勝手に除去することはできないが、空家等対策審議会も5回開催し、その中で現在1戸が特定空家に認定され、指導を続けている。改善されない時は勧告・命令・行政代執行と順次命ずることができる。

【市長】

スピード感を持ってやらないといけませんが、個人所有なので、行政として一定のルールは守っていかなくてはならない。デスクワークだけでなく実際に歩いてしっかり現場を見るという点についてはやっていきたい。

【参加者】

なかなか相手あってのことで、進みにくいとは思いますが、よろしくお願いします。

【参加者】

ため池や農業用の水路について、成福寺地区や楠地区等では使われてないところがある。山から枯れ葉が流れてきて、ヘドロで埋まっており、どれ位浅くなっているかわからない。上から土石流などが生じた場合、決壊の恐れもあるが、管理やメンテナンスはどのようになっているのか。

【市長】

堤が弱くなっているか点検をしながら直すべき所は直していきたい。堤が壊れて流れてしまうと川の決壊と同じような結果になるので、定期的に検査をしながら改修していくという認識でいる。

私の住んでいる地区にも、使わないような池がある。これについては、地域の皆様と相談しながら潰していく話もある。

【危機管理課】

多くのため池が地域の農業用に使われており、土地改良区が基本的に管理をしている。まずは、地域の土地改良区に確認していただき、決壊しそうだったり、堤防が切れそうだったりという恐れがあれば、土地改良区に相談していただきたい。

【市長】

事業をする時に県が入るが、その手前の準備を土地改良区が行い、市が調査して県に挙げるということである。

【農林土木課長】

今年、ため池管理法(農業用ため池の管理及び保全に関する法律(令和元年7月1日施行))が制定された。管理者の届け出が義務付けられることになる。その整理を土地改良区が対応しており、今年中に届け出されてくる。それによって、土地改良区のものか個人のものに分かれ、個人は所有者が管理していく形になる。

【参加者】

各改良区でため池等台帳を整備している。その辺について、県の農林がため池の点検をやっている。市内の改良区が管理している台帳で、技術的に改良区での対応が難しい場合、市は改良区に対してどういった助言や管理指導をするのか。

【農林土木課長】

市内のため池は195個あるが、その中で防災重点ため池として災害が起こった時に大きな被害がでると想定しているため池は約160個ある。それに対して、安全パトロール等を行い、漏水などがあれば改良区及び県へ報告し、県を通じて市から土地改良区に助言、指導をしている。

【参加者】

改良区がどれくらい費用を持っているか想像はつかないが、市や県や改良区と押し問答しているうちに、5年10年経っても問題が続いてしまう。ある程度のところでチェックする機能があれば良いのではないか。そのままにされているところが多いと思う。

【市長】

そこは、生命・財産に直結し、スルーすることはできないので行政として何らかの対応をするなり関わっていきたい。

4 地域課題②「各団体の今後の在り方」について

(1) 地域からの提案説明

【連合自治会長】

各地区の団体がどのような目的で、どのような役割、どのような活動をし、どのような問題があるのかお聞きし、その問題の解決策を探ろうということで、テーマとして挙げさせていただいた。

【参加者】

楠河地区の婦人会は役員のみならず数年前に解散した。だが1年もたたないうちに当時の市長から、助成金がありながら婦人会がないのはどういうことかと話があり、当時の婦人会長が舞踊の組織を持っており、楠河を愛する者が30名ほどで婦人会を立ち上げた。しかし、その数年後、会長が亡くなり、今後について当時の公民館長に相談したところ、「婦人会がなくなると公民館も困る」ということで、役員探しに皆で村中歩いた。そうしたら楠河を愛する人たちが応援するよと集まり存続するようになった。

当時の市長の地元が楠河であり、そこに婦人会がないと市長も肩身が狭い思いをするので、皆でこの危機を乗り越えようと盛り上げた。JAの婦人も皆さん婦人会に入っている。楠河を愛する人たちが、和気あいあいと未熟ではあるが頑張っている。しかし、私も後期高齢者になり足を引きずりながら中央には出ていけないので、「2年経ったら辞めさせてもらおう」と言ったら皆が、「皆連れて婦人会を辞めてくれるのを待っている。」と言われた。

こういう場合、組織はどのようにしたら良いのか。若い人が来てくれたらなお良いが、このまま2年経ったら消えていくのかと心配している。

現在、三芳地区の方が「婦人会を立ち上げようと思う」と相談に来た。応援はしたが、楠河の婦人会が2年後に辞めてしまったのでは何か寂しい思いがするもので、今後の在り方についてどのようにしたら良いのかお聞きしたい。

【市長】

キーワードが、「楠河を愛する会」ということ。旧東予地区でも婦人会を持っていない地域もあるが、地域を愛する熱でここまで頑張ってきたのかなと思う。

高齢化、固定化で次の代に渡すのに苦勞をしている一方で、健康づくり推進委員やスポーツ推進委員等よく似通っている組織もある。

こういった状態を人口減少社会の中で、1回見直すことが大事である。世話役も次の世代の当てがあればよいが、ないのであれば組織の整理をしていきたい。これは強制でないと言ったが、地域づくりの中に落とし込んでいくのも1つの手段である。

例えば婦人会というように重たくではなく、地域の世話をする感覚で老若男女問わずやって欲しい。理想みたいなことばかり言うとよく言われるが、そうしていかないと、いつまでもたっても役員を続けることになる。各会長が今持っている思いが少し楽になるよう地域づくりと一緒に考えていきたい。アドバイスがあれば、若い人は若い人なりに考えていく。いつまでも自治会長がトップにいて、リーダーシップを発揮するのは責任も重たく、しんどいと思う。橋地区は非常に機能してきたので見に行く機会があれば行ってほしい。今日すぐに答えが出て、明日からできる話ではないが、我々はいつも傍にいますので、地域づくりについては是非一緒に考えていきたい。

【参加者】

自治会長のなり手がいない、やらされているという声が非常に多い。それを何とか解決しようと、自治会で加入促進部会を立ち上げ、例えば土地開発の宅建のPRをしている所にパンフレットを持って行って、自治会の加入率アップにむけて努力をしている。

楠自治会についても、以前は役をする人がいないため、自治会長を10年以上もやっていたことがある。それではいけないということで会則を見直し、自治会長への再任は認めるが再々任は認めないに変更した。地域のためというより役をすることで地域の方皆が参画できるような体制を作りたいということで取り組んでいる。

それでも、なかなか次の人が見つからない。地区内に21の班があり、その班も班長さんが輪番で取り組んでいただいております、補助的な役割をしていただいている。

西条市の連合自治会においても簡略促進に向けて努めている。

【市長】

リーダーシップは大切であるが、1人ではできない。仲間を増やして皆でやろうというところが

ないとしんどくなる。組織を作っていく時、例えば PTA は子どもがいるから入っていると思うが、何かそういうふうなものがないと、なかなか組織に入っていけない。

今日いるリーダーに、エネルギーを出してもらい話し合いをしながら、連携を図りながら課題解決に向けて動いていて欲しい。

これは大町地区の例だが、人口が減り、高齢化して今までのまま回そうというのが、そもそも難しいので、やり方、方法を変えていくことが必要ではないかということになり、まちづくり協議会をつくった。その中では、会長の下に自治会長や婦人会長らが連なったグループになっている。作る場所のしんどさはあると思うが、少しは負担が楽になると思う。

【参加者】

25日に子ども食堂を公民館で開いた。ところが、小学校の大掃除の日と被り、子どもは10人ほどだったが、大人が30人いた。その中に「婦人会に入れて下さい。」という人が2人いた。大変嬉しいことである。そうやって1人ずつ引っ張り出していく方法もあるのではないかな。

【市長】

公民館だより等のツールはあるが、地域の中で何が行われているかわからないという意見がある。例えば子ども食堂をすることが皆に知られていたのか。PTA や自治会にも流して知られていれば、私も手伝おうかというような方が増えるかもしれない。そうして、婦人会の行事ではなく地域の行事にすればまた違った形で運営ができると思う。そういった形で、子どもがおばあちゃんの力を借り、また違った知恵を教えてもらったりする。三世代が交流するには、婦人会だけでなく、地域で育てようという発想に切り替えていかなくてはならない。これは、口が言うのは簡単だが、やっていくのは少し難しい。

5 その他（地区における課題及び要望に対する回答）

【シティプロモーション推進課長】（参照別紙資料（6））

【市長】

楠河小学校の通学路は歩道が少ないので、例えばカラーリングをして安全帯を作る。学校は安全・安心な場所ではなくてはいけないので、通学路点検をしており、本当に危ない所があれば手を入れていく。ブロック塀もだが、一応全て完了している。

鳥獣対策も非常に困っており、農業生産意欲の低下にも繋がっていく。地元JAが自治体と協力して対策しているところもあるので、そういったことができればという思いもあり、関係機関の連携が必要だと思っている。

【参加者】

集団検診について、西条市は無料で、愛媛県で一番であった。それで県のJAの会では「西条市は進んでいる、西条市って良いね」と言われとても鼻が高かった。

集団検診の実績表やグラフが毎月JA厚生連の理事会に出てくる。これまで東予保健センターと西条中央保健センターで平成29年度まで無料だったが、平成30年度から一部が個人負担になった。そのことで受診者数がぐっと減っていた。

一部有料化は、子育てしている人たちにはとても負担がかかる。平成30年度の胃がん検診は、昨年度より538人減っている。30歳以上1,300円が有料になった腹部超音波検診では、734人減っている。これは、2~3人に1人に癌が襲っているというこの世の中でどうなのか。市民の健康は防災と同じである。市長の挨拶で財政が乏しいということも聞いた。そして子育てや福祉に入れているということも聞いたが、市民の健康が第一だと思う。検診を受けている方は皆さん健康である。亡くなった方は検診受けてない方が多い。今更有料にするのはどうか。

【市長】

今まで西条は暮らしやすい街だった。何もかも無料、ごみ袋も無料、それで、ゴミを減量しなさいと言って、誰が減量するのかという話になる。首長は次にボタンタッチしていくので、カッコつけていつまでも無料のままでも良いが、その代わりにまちはなくなる。だからこそ、有料になる時は丁寧な説明をしないとイケない。行き届いてないところについては、お詫び申し上げなければならない。

西条は、下水も松山からしたら三分の一、新居浜からすると半分である。そのつけが今からくる。もうきている。

予防、検診が大事というのは間違いない。しかし、これを続けていくと子どもや孫たちの世代

は全額負担になる。そうすると、夢も希望も無くなってしまいうので、何とか知恵と工夫を出していきたい。「あれもこれも」から「あれかこれか」に、「小負担高福祉」から、「中負担中福祉」へというのはこういうことである。

実はこれだけではなく、公共施設等も見直していく。そうしないと、人口が減っていくのに、何もかもはできない。ここは、丁寧に説明していくのでご理解いただきたい。

6 まとめ・閉会

【市長】

市民ファーストで、全ては市民の為にと思っている。しかし、これからの時代は、今までと同じ形にはならないということを丁寧に説明させていただきたい。このことは地域づくりと同じで、人口が減ってきて高齢化が進んでくるとしんどくなってくる。

大事なのは話し合いだと思うので、皆様の知恵と工夫をいただきながら、より良い楠河地区にしていきたいし、行政も伴走していくので、至らない点は叱咤激励をいただきながら一緒に頑張ってまちづくりをしていきたい。

限られた時間だったが、今日がキックオフということで、これから「市長ちょっと来いや。」ということであれば、時間を調整して参るのでいつでも呼んでいただきたい。これからもよろしく願います。本日は感謝申し上げます。

【連合自治会長】

本日は、この地区で初めての地域づくりということで、各種団体の方が集まった。

数多くの活発なご意見等が出たことを、まず心からお礼申し上げます。最後になるが、本日は、ご公務ご多忙の中ご出席いただいた市長、そして関係職員の皆様におかれては、本日はどうもお疲れ様であった。今後も地域の活動に関して、行政からご指導、ご支援を賜るようお願いを申し上げて、本日の会を閉じたいと思う。本日は感謝申し上げます。

(閉会)

<タウンミーティングの様子>

